

| 科目名 | 授業時数 | 教科書名 | 副教材名 | 担当者名 |
|------------|------|---------|----------------------------|------|
| 中学1年 理科 | 4 | 新しい科学1年 | カラーブック理科資料 Keyワーク 理科 中1 | |

1. 授業のねらい

- (1) 理科に関する基礎的な知識を獲得するとともに、科学的思考力を培ってもらいたい。
- (2) 理科(自然科学)の各分野に興味・関心を持ち、その中から問題を見出す力を培ってもらいたい。

2. 授業のすすめ方

- ①教科書の内容を中心に授業を進める。講義型に偏らず、ICT機器を用いた双方向の授業を展開する。
- ②テーマごとに課題プリントや補助プリントを用意し、思考力・判断力・表現力を養う。
- ③生徒実験や演示実験、視聴覚教材などを通して内容の理解を深める。
- ④発表の場を多く用意し、学び合いを大切にする。
- ⑤web教材(スタディサプリ等)を利用し、反転学習を行う。

3. 学習上の留意点

与えられた課題を受身的にこなすのではなく、主体的に勉強に取り組む習慣をつけ、取り組んでほしい。

- ①授業の前に教科書に軽く目を通しておくこと。
- ②授業では先生の説明をきき、疑問点は積極的に質問をしてほしい。
また、各自で疑問点について調べることも行ってほしい。
- ③板書事項はノートに記録すること。また、板書以外のお話しなどもメモしておくこと、家庭学習での振り返りのときに理解が進む。
- ④配付されるプリントはノートに貼り、いつでも見ることができるようしておくこと。
- ⑤問題集は考査直前にまとめて解くのではなく授業の進行に伴って各自で進めていくこと。
その際、できなかった問題はチェックをつけ、考査前までには解けるようにすること。
- ⑥実験や観察では、先生の指示に従い、安全に配慮して積極的に取り組んでほしい。
- ⑦レポート・提出物は、その趣旨をよく理解して取組み、提出期日を守ること。
- ⑧考査直前ではノートの見直しをしたり、解けなかった問題に再度取り組んだりしてもらいたい。

4. 副教材・参考文献

Keyワーク理科(教育開発出版)
カラーブック理科資料集(とうほう)

5. 評価の視点・テスト・課題等

以下により学期ごとに評価を行う。

- ①定期考査による学習の到達度
- ②平常点(課題・提出物・授業態度・実験実習の取組み等)

また、観点別評価として「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」について学年末に評価する。

6. 定期考査

以下の通り、年間5回(1学期中間・期末・2学期中間・期末・3学期学年末)実施する。

- ①各回100点満点とする。
- ②知識を問うだけでなく、知識を活用した思考力・判断力・表現力を問う問題を含む。

7. 授業計画

| 期 | 月 | 単元名・学習項目 | 評価方法 | 到達目標 |
|-----|----|---|---|---|
| 一学期 | 4 | 理科ガイダンス ○いろいろな生物とその共通点 ・生物の観察と分類のしかた ・植物の分類 ・動物の分類 | ①実力テスト ②実験レポート ③授業ノート ④問題集ノート ⑤定期考査 | <ul style="list-style-type: none"> ・アブラナやタンポポの花のつくりの観察し、スケッチを行い、構造を理解する。 ・生物を分類するとき、どのような特徴に注目して分類するかを理解する。 ・動物を分類するとき、どのような共通点と相違点に注目すればよいかを理解する。 ・物体が見えるとは何かを理解し、鏡に当たった光の進む道筋を調べ理解する。 ・レンズの仕組みを理解し、凸レンズを通してできる像を調べ、図示し、式で表すことができる。 ・音の高さや大きさは音源の振動にはどのような関係があるかを理解する。 ・夏休みの自由研究を通して、主体的な探究活動を行う。 |
| | 5 | 定期考査 ○身のまわりの現象 ・光の世界 ・音の世界 | | |
| | 6 | | | |
| | 7 | 定期考査 <夏季自由研究> | | |
| 二学期 | 9 | ・力の世界 | ①実力テスト ②夏休み中の課題 ③実験レポート ④授業ノート ⑤問題集ノート ⑥定期考査 | <ul style="list-style-type: none"> ・物体にはたらく力を見出し図示することができる。 ・力の大きさとばねののびの規則性を見つけだし、どのような関係があるかを理解する。 ・物体にはたらいっている力のつり合いについて理解する。 ・マグマの性質と火山の形にはどのような関係があるか理解する。 ・堆積岩・火成岩の観察とスケッチを通して特徴を理解する。 ・地震発生の仕組みを理解する。 ・地層から堆積当時の状態を推測する。 ・防災に関する意識を高める。 |
| | 10 | 定期考査 | | |
| | 11 | ○大地の変化 ・火をふく大地 ・動き続ける大地 ・地層から読み取る大地の変化 | | |
| | 12 | 定期考査 | | |
| 三学期 | 1 | 【防災検定】 ○身のまわりの物質 ・身のまわりの物質とその性質 ・気体の性質 ・水溶液の性質 ・物質の姿と状態変化 | ①実験レポート ②授業ノート ③問題集ノート ④定期考査 | <ul style="list-style-type: none"> ・原子・分子の概念を理解する。 ・重要な元素記号を覚える。 ・金属と金属でない物質、液体と気体の性質や特徴などを理解し、区別の方法を知る。 ・溶解や状態変化などを粒子で説明できる。 ・再結晶の原理を理解する。 |
| | 2 | | | |
| | 3 | 定期考査 | | |